

# 赤岩かわら版

～第 7 号～ 赤岩かわら版編集局

## 念願の南大橋の再開通式

重量制限で大型車の通行が制限されていた南大橋の補修・補強工事が終了し、7/1再開通式が行われました。大型車の通行が解除され、直接赤岩地区まで通行できるようになり、観光客の増加が見込まれます。

第一陣として、7/7(水)「はとバス」御一行 20 名が赤岩地区を訪れました。

なお、昨年のはとバスは計 9 回、今年は 3 回で終わりました。このままでは、来年はどうなることでしょうか？ 対応が待たれます。



## 第 3 回「シルクカントリーぐんま 世界遺産キャンペーン」開催される!!

第 3 回「世界遺産キャンペーン」(於高崎イオン)に本年も「赤岩おかいこ部会」を中心に 15 名が参加。家族で楽しめる無料体験に大勢の方が集まりました。座繰りの体験コーナーを新設、繭(まゆ)から生糸になるまでの流れもよく理解できた様子。また、問題点も洗い出され、意義深いイベントでした。

### ☆関 秋雄さん(昭和二桁会)

おかいこ部会主催によるキャンペーンは、多くの入場者があり大盛況でした。私と橋爪浩さんは昭和二桁会から応援参加して、正絹組ひもストラップの販売を担当することとなりました。

日曜日のため家族づれが多く、「これは販売も好調にいくのでは」と期待でいっぱい？テーブルの前に置かれたストラップを手に取り、品定めをするお母さん、お気に入りのものに手がとまる・・・だけど、元の場所に置かれ、なかなか買ってもらえない。

興味深く見ている小学生に、このストラップは、座繰りで取った絹の糸を染めて、組ひもで作ったものだよ。体験できるからと勧めるとすぐ座繰りへ行った。しばらくすると出来上がった純白の糸を本当に大事そうに手に載せ、見せにきました。さらに、組ひもでは紅白のハートデザインのストラップを完成させ、満面の笑みをたたえて自信作を持ってきた、その目は最高に輝いていました。

若いカップルには、買わなくてもいいから、お気に入りのデザインを教えてくださいようお願いしますと、2人で真剣に選んでくれました。

また、テーブルの両脇に置かれていた押し花行燈(あんどん)は、そのすばらしさに感激する方が多く、現在新築中の夫婦が相当悩んでいましたが、新居が完成したら購入したいと約束してくれました。販売できた数は少なかったですが、座繰りから始まり組ひもによりストラップができるまで、一連の流れを PR できたことは有意義であり、得たものは多かったと思いました。

そして、本物に触れ、感動を体験していただいた方が、1人でも多くいたとしたら、今回のイベントは十分効果があったと確信しています。

お蚕部会員のみなさま、本当にご苦勞様でした。そして、ありがとうございました。



♥橋本めぐみさん(緑のふるさと協力隊)

六合村に来てから4・5回ほど赤岩おかいこ部会に顔を出させていただいた関係で、7月5日に高崎イオンにて「シルクカントリーぐんま」のイベントに参加させていただきました。

私は実はイベントに参加する直前に組ひもの組み方を習ったばかりだったので、当日人に教えることができるのだろうかという不安もありましたが、組ひも体験をして頂いたお客様になんとか教えることができたので、今更ながらにホッとしています。

初めは「組ひもって何?」とか「何か難しそう」と言われていた方や物珍しそうに見ていた方も、いざ体験してみると皆一様に真剣な表情で絹ひもを組み交えていながら、だんだんとできあがっていく組ひもを見て喜んでいたことが、とても印象に残っています。

またお蚕さんから繭になっていく一連の流れを展示したブースを見た後、座繰り体験をしてきた小学生の子などは「あの繭からこんなに綺麗なものができるんだあ」と不思議そうに、また感動した様子だったのを覚えています。

当日参加された皆様方お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

♥大川文恵さん(緑のふるさと協力隊)

今回、赤岩おかいこ部会の方々とともに「シルクカントリーぐんま世界遺産キャンペーン」に行かせていただき、とても良い経験ができました。イオンに行く前は、3か月前に初めて赤岩のことを知り、1週間前に組ひもを覚えたばかりの私が人に教える立場になってもいいのか、どれだけの人が興味を示してくれるのか、とても不安に思っていました。

しかし、子供からお年寄りまで、想像以上にたくさんの人が興味をもって来てくれて、とても驚きました。それと同時に、多くの人に楽しく組ひもや座繰りを体験してもらうことができ嬉しく思いました。たった数分の体験ですが、絹について知ってもらうきっかけになればとても素晴らしいことだと思います。

教えることで手がいっぱいでしたが、この絹糸がどのようにしてできたか、群馬県の絹産業遺産についてなど、伝えたいことがたくさん出てきました。養蚕や絹糸について、他の地域のことや歴史について勉強し、それを赤岩のみなさんと共にもっと多くの人に伝えていきたいなと思いました。

**重伝建「赤岩」ふれあい感謝祭・二百十日祭**

日 時：平成21年9月5日(土) 会 場：赤岩ふれあいん家、どむろん家  
詳しい内容等が決まり次第お知らせします。

**■来訪者情報**

7/ 7(火)・8(水)・10(金) はとバス	7/13(月) 世界遺産解説委員	7/14(火) 千葉県常総映像会
7/14(火) 国土交通省	7/16(木) 岐阜県白川町	7/16(木) 藤岡市みよしの観光
7/22(水) 埼玉県春日部市	7/24(金) 東京都志村様	7/29(水) 中之条町
8/ 7(金) 六合中学校教職員	8/23(日) 榛東村公民館	8/24(月) 東京都清水様

**■編集後記**

梅雨空の毎日に、夏の太陽が恋しい。このまま秋になってしまうのではと、錯覚を起こす。やはり、夏らしい天気でない気持ちまで落ち込んでしまうのは、自分だけなのか…… おかいこの里に、夏の声が響きわたる日が待ち遠しい。(局)